



40 山中城跡

--- 100名城 ---

20.3.25



案内写真での障子掘はどんなんかなあーと思いつつ、実際見て見ますと本当にユニークな発想の掘でした。しかし未完成のためこのお堀での結果を見ずして落城したのが口惜しいです。

ここでも馬曲輪から富士山が本当にきれいに観られ嬉しくなってしまいます。

山中城は、後北条氏渾身の山城は空堀のデパート！

静岡と神奈川の県境近く、芦ノ湖の少し南あたりの山中に残る山中城跡は、障子堀(しょうじばり)と呼ばれる障子の柵(さん)のような縦横のあぜ道を持つ横堀で有名な山城。対立した秀吉の小田原攻めに備えて堀や曲輪の整備増強が図られるも、未完成のまま4万の大軍に攻撃され僅か半日で落城。そのまま廃城となつた。



41 駿府城

--- 100名城 ---

2020.3.24



駿河城公園は静岡駅に近く、広大な敷地内(旧内堀-現埋立)に駿河城址があります。北西部では天守閣の発掘調査が行われております。これを観ると、家康の強大な権力に身震いを覚えます。

この日は天気が良く、ビール片手に公園中央の芝生に座り、のんびりと過ごしました。又北側には富士山がきれいに見え最高です。

駿河城公園



富士山眺望



家康公像



紅葉山庭園



東御門
翼櫓



徳川家康が、將軍を秀忠に譲って"大御所"となつた後に生活・政治の拠点とした。

5重7階の大天守があげられたが、1635年に火災で焼失。明治廢城令により建物・城門等は全て破棄。平成になってから翼櫓、東御門などが順次再建されている。

3重の堀は、最も内側の内堀がほぼ埋め立てられ、今は2重の堀となっている。外堀の内側は学校や省庁などが建ち並ぶ。中堀の内側は城址公園として整備され、東御門など幾つかの建造物が再建されている。



駿府城 3D 城郭



駿河城空撮



駿河城ジオラマ



42 掛川城

--- 100名城 ---

2020.3.23



掛川市の駅前に立つと予想外に静かで、東海の名城と謳われるほどの貴族的な外観をもつ掛川城天守閣があるからかどうか、落ち着いた気品も感じられる町並みです。言い過ぎかも知れませんが？

ただ残念なのが落ち着く休憩所（公園のような場所）がなく、見て帰るだけでした。

掛川城 は山内一豊公が建てた「東海の名城」

当地を治める家康が関東へ移封され、代わって山内一豊が掛川城主となった。一豊公は掛川城を3重4階の天守に大改修。東海の名城として謳われるも、1854年の安政大地震により天守・御殿が倒壊、御殿は再建されたが天守は再建されず明治を迎えて廃城。その後、天守は1994年に再建された（日本初の木造復元天守、外観は古絵図と高知城天守を参考にした一部想像の姿）。

FB - 061



掛川三城ものがたり

遠江支配の攻防を繰り広げた歴史に名を残す城郭

- ・東海の名城 **掛川城**
- ・難攻不落の城 **高天神城** (次にご紹介)
- ・玉石積みの石垣 **横須賀城** (名城入りならず)



高天神城奪還の為に築かれた
横須賀城跡



有田焼の立体模型



二ノ丸御殿



145 興國寺城跡

こう ごくじ

--- 続100名城 ---

2020.3.24



FB - 064

山中城跡登城後に興國寺城跡へやってきました。正直同じ続100名城でこんなにも落差があるとは、ガッカリしました。規模や整備など、本当に失礼ながら情けないくらいにお粗末でした。片道30分かけて歩いてきたのが情けないです。というのが第一印象です。もっとも福井城も続100名城なので、威張れたものではありませんが。

しかし、よくよく調べていきますと、続100名城に指定されたのがH29.4月・現在発掘調査中で、将来的には史跡公園としての活用を検討中だとか。また、「ぬまづの宝100選」に選ばれているという事で、失礼ながら今後に期待です。

興國寺の歴史

興國寺城は、今川・武田・北条各氏によってたびたび奪い合われた城で、武田氏滅亡後には徳川家康の支配下となり、多くの軍勢が駐屯可能な徳川氏の拠点のひとつとして改修された。また大兵力を動員した小田原攻めが興國寺城の拡張、改築に影響した。

家康が関東へ入封されると豊臣氏の家臣・中村一氏が城主をつとめた。「関ヶ原の戦い」後は興國寺城の存在意義は小さくなり天野康景が1万石で入封したがのちに出奔したため廃城となった。



146 諏訪原城跡

--- 続100名城 ---

2020.3.23

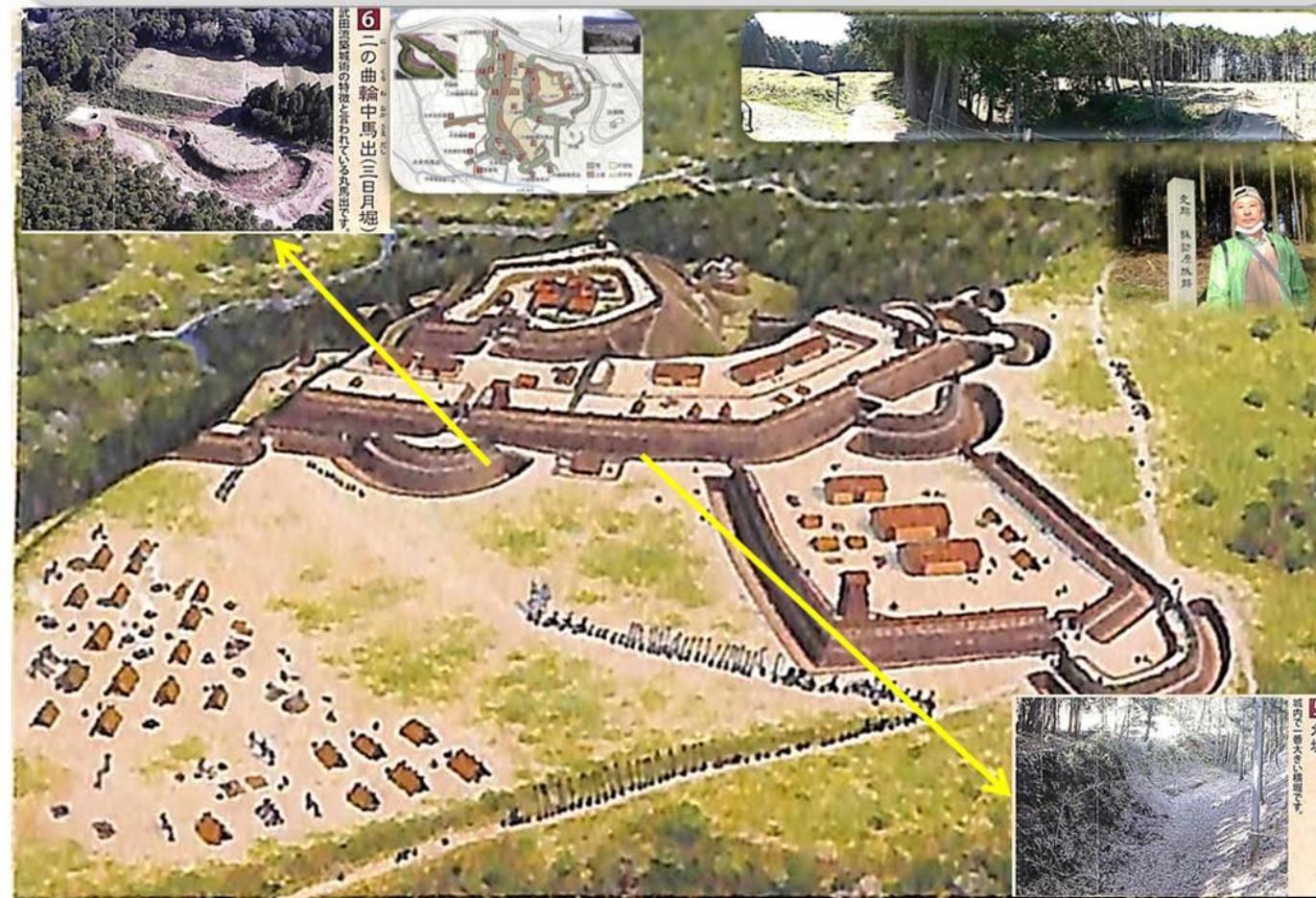


別名：牧野城（徳川攻略後改名）

高天神城攻略で利用し、武田氏滅亡後廃城(1590年)

JR金谷駅から30分の案内のところ、近道と思う別の道を選んだのですが、とんでもない急な坂道で1時間も掛かってしまいました。しかし登り切った先にはお茶畠が広がっており、素晴らしい眺望でした。

そして帰りは城跡管理の職員さんに教えられた道(旧東海道)を行ったのですが、これが面白い道で、「すべらない石畳」として島田市では有名らしく、また途中には「長寿・すべらず地蔵尊」のお堂がありました。受験や商売など、何事も願いが叶うという事から来ているそうです。しかしこの道、30~50cm大の円形の石が敷き詰められており、とにかく足元の石を注意しながら歩かないと足首を捻りそうで(逆に滑りそうで)、歩き難くて難儀しました。

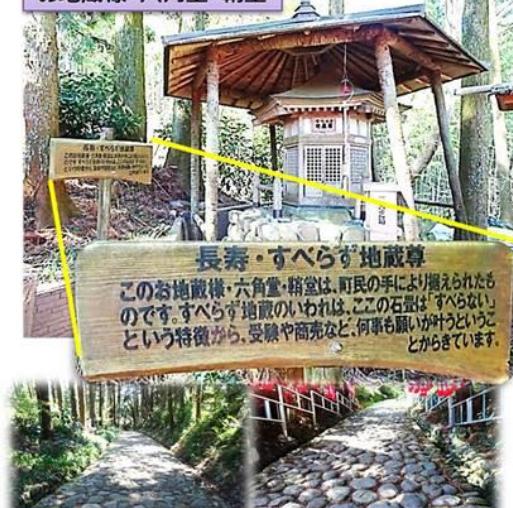


(加藤理文監修／香川元太郎作画)

推定復元図



長寿・すべらず地蔵尊
お地蔵様・六角堂・鞘堂



金谷坂の石畳(すべらない石畳)-島田市指定史跡



茶畠の広がる丘陵(城跡前)

148 浜松城

--- 続100名城 ---

2020.3.23



この浜松城公園も本当に広く、心身ともに癒されます。また日本庭園ではリスを見ました。

浜松と云えば

--YAMAHA--

ですが、駅の近くに「浜松市楽器博物館」があるのを後で知り、残念でした。いつか神奈川県の名城巡り時に途中下車で観たいと思っています。

「出世城」と呼ばれた浜松城

浜松藩政300年の間に再任を含め、25代の城主が誕生し、老中に5人・大阪城代2人・京都所司代2人・寺社奉行4人が登用されています。

浜松城は、天竜川の扇状地「三方ヶ原」の南東端に築かれた城で、戦国期・家康の居城。元は今川氏方の城(曳馬城)だったが家康が遠江を領した際に強固に改修。三方ヶ原の戦い・長篠の戦い・小牧長久手の戦いは、ここ浜松城時代に勃発している。家康の時代は土の城で、その後 豊臣方の堀尾忠晴が入り総石垣・大天守などを持つ近代城郭へと改修した。

FB - 060

